

〃	一六〇〇	慶長 五年
一六〇一	慶長 六年	
一六一一	慶長十六年	
〃	〃	
一六一五	元和 二年	
一六一九	元和 五年	
一六二二	元和 八年	
一六二三	元和 九年	
一六二四	寛永 元年	
一六二四〇四二	寛 永 中	
〃	〃	
一六二五	寛永 二年	
一六二六	寛永 三年	
一六二八	寛永 五年	
一六三六	寛永十三年	
一六三九	寛永十六年	

景勝有明をしりぞけ、寵遇する三宝院某を飯豊山の別当とし、有明蓮華寺に帰る。

二月より景勝神指城を築く。関ヶ原合戦、今和泉長泉寺に有俊が住む。

上杉景勝米沢三〇万石で移封、蒲生秀行再び来封、下荒井蓮華寺有明を再び別当とし、

飯豊山別当坊に五〇石寄進。

本田出井山本泉寺を行蓮が草建する。

会津大地震山崎に地江り起り、山崎新湖をたたえる。寛永末（一六四三）まで三十二年間も完全には水がひかなかったという。寛永末（一六四三）まで三十二年間も完全には水がひかなかったという。

軽井沢銀山再開千戸の家建つという。下荒井の宿場にぎわう。

九月二十九日下荒井に馬市立つ。

中荒井に四つ壇のおかれたのはこの頃か。

新鶴村和泉新田、新屋敷新田開かる。

下米塚観音堂長賢中興、宮袋新田開く。

下荒井妙法寺を移し、観音堂建立。

十二所新田開く。西方山内一族に属する。

麻生新田開く。佐布川の地先に天満の開かれたのもこの頃か。

柏原円城寺に観管住む。上米塚に出新田開かる。

大島新田開く、境野に出新田開かれる。各地に新田開墾がすすむ。郷頭職復活。

新田開発のため田奉行をおく。

下野新田開く、加藤明成若松城大増築、西出丸、大手、北出丸など増築される。